

5. 学校跡地活用事例の調査

旧武蔵台中学校と同一用途である第一種中高層住居専用地域における他自治体の学校跡地活用事例について、3校の事例を調査しました。

表3：他自治体の学校跡地活用事例

所在 学校名	兵庫県神戸市 旧雲雀丘小学校	兵庫県神戸市 旧夢野中学校	東京都練馬区 旧光が丘第三小学校
用途地域	第一種中高層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域
敷地面積	約 8,300 m ²	約 15,700 m ²	約 12,000 m ²
活用手法	売却	売却	賃貸
活用施設	福祉施設	福祉施設	教育施設
活用内容	特別養護老人ホーム	介護医療施設	インターナショナルスクール
契約時期	不明 (覚書締結：令和元年11月)	不明 (覚書締結：令和2年6月)	平成23年1月
施設オープン 時期	令和4年4月	令和5年4月	平成24年10月
地域活性化・ 地域交流の 取組	- 敷地内にゲートボール場や建物の1階に交流スペースを設け、自治会や近隣住民との交流の場（地域の拠点）として活用 - 地域活性化のために、地域の方々の雇用を積極的に図り、高齢者への雇用の場の提供を図る	- 地域のニーズに合わせる柔軟性（増床計画、拡張する多目的室） - 地域活性化を促す様々な取組（イベント開催、多目的室の地域開放） - 地域資源を生かした施設整備（屋上庭園をイベント時に地域開放） - 地域経済の活性化と雇用促進（市内在住者の採用や地元企業の利用、シルバー人材センターとの連携）	防災活動への協力や体育館、校庭について近隣の地域団体への開放、国際交流面での区施設との連携や近隣小・中学校との交流

調査した3校では、統廃合や移転によって閉校となった学校跡地について、プロポーザル方式※により事業者公募が行われています。また、いずれの活用事例においても、事業計画に地域活性化や地域交流を図る取組を提案した事業者が選定されています。

※ 『プロポーザル方式』とは、不特定多数の事業者から、定められたテーマに対して提案書などの提出を求め、最も優れた提案をした事業者を契約相手として選定する方式です。